

信州大学医学部附属病院 呼吸器・感染症・アレルギー内科に  
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ  
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2018年6月14日

**「慢性閉塞性肺疾患の発症に関与する遺伝子の解析」に関する臨床研究を実施しています。**

信州大学医学部遺伝子解析倫理委員会の審査による医学部長の承認を得て実施しています。この研究は、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	619(遺)
研究課題名	慢性閉塞性肺疾患の発症に関する遺伝子の解析
所属(診療科等)	呼吸器・感染症・アレルギー内科(内科学第一教室)
研究責任者(職名)	金城 匠(大学院生)
研究実施期間	倫理委員会承認日～2023年6月1日
研究の意義、目的	慢性閉塞性肺疾患は喫煙が原因の疾患と考えられていますが、全喫煙者のうち一部の患者において発症します。疾患感受性遺伝子の存在があると考えられています。本研究では、海外で報告されている既知の責任遺伝子(CHRNA3/CHRNA5、IREB2、FAM13A、HHIP、ADRB2)に関し、日本人における頻度を調査します。本研究が慢性閉塞性肺疾患に対する個別化医療への一助になる可能性があります。
対象となる患者さん	平成15年4月1日から平成19年3月31日の期間に当院における慢性閉塞性肺疾患の臨床研究に参加され、将来の研究のために血液検体を用いることを書面により同意された患者様
利用する診療記録／検体	患者背景(年齢、性別、喫煙歴、使用薬剤) 血液検査検体、胸部CT検査、呼吸機能検査
研究方法	過去の研究のため当科で保存されている血液細胞からDNAを抽出し、慢性閉塞性肺疾患に関与する原因遺伝子を調べます。原因遺伝子の発現と胸部CT検査所見、呼吸機能検査との関連性を調べます。
共同研究機関名	本研究は、信州大学のみで実施されます。
問い合わせ先	氏名(所属・職名):金城 匠(内科学第一教室・大学院生) 電話:0263-37-2631

**既存の検体や診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。**

**当院外へ患者様を直接特定できる個人情報ができることはありません。**

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

**この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。**

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。